

富津市創生会議 会議録 (要旨)

1 会議の名称	第3回「富津市創生会議」
2 開催日時	平成29年3月27日(月) 午前9時30分～午前11時50分
3 開催場所	富津市役所5階 502・503会議室
4 審議等事項	1 総合戦略実行計画(平成29年度当初予算)について 2 その他(平成29年施政方針)について
5 出席者名	富津市創生会議委員(10名) 稲村 重夫、岩沢 宏幸、小泉 敏、坂田 慶子、 佐々木 ゆき江、鈴木 裕士、鈴木 眞廣、 武次 治幸、永田 武憲、橋村 透 事務局(8名) 副市長 小泉 義行、総務部長 白石 久雄、 総務部次長 池本 幸司、企画課長 重城 祐、 企画課企画課長補佐 木村 美文、 企画課主任主事 國吉 功二、企画課主任主事 赤井 聖、 企画課主事 牧野 圭吾 実行計画事業担当課(52名)
6 公開又は非公開の別	公開・一部公開・非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第23条第 号に該当 (理由)
8 傍聴人数	3人(定員 20人)
9 所管課	総務部企画課企画係 電話 0439-80-1223
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

第3回「富津市創生会議」会議録

発言者	発言内容
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 副市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 新任委員紹介 浅野委員の後任に橋村委員が就任</p> <p>5 会議の趣旨及び議事進行について 本日の会議の趣旨は、昨年9月に策定した総合戦略実行計画を平成29年度当初予算及び平成28年度決算見込みに更新し、その内容について委員からご意見、ご質問をいただき、今後の事業実施の改善に役立てることである。 資料1の富津市創生会議の事前調査及び質疑から説明する。 各委員の基本目標ごとの事前調査の観点は、次の2点である。 1つ目に平成28年9月に策定した資料3「総合戦略実行計画（平成29年度当初予算）」を見え消し修正した「平成28年度及び平成29年度欄」の事業内容は、現行計画と比較し、総合戦略目標値達成のための手段としてより適正となっているか、2つ目に資料3「総合戦略実行計画（平成29年度当初予算）」と資料4「平成29年度当初予算事業シート（概要説明書）」の事業内容、事業の自己評価（今後の事業の方向性）とがつながっているか等の2点である。 次に本日の議事進行の時間配分の目安は、全体を12時までに終了予定とし、内容の説明は省略し、4つの基本目標ごとに担当委員1人当たり回答時間を含め8分程度とするので、委員のご質問、ご意見は簡潔にお願いします。 また職員にあっては、回答を可能な限り簡潔にし、2時間の会議終了予定に協力すること。議題（1）の終了予定は11時30分とする。 なお、本日の会議の趣旨で委員からご意見、ご質問をいただき、今後の事業実施の改善方策として取りまとめると説明したが、多くのご意見、ご質問をいただき、活発な質疑をしていただくことが肝要であるので、改善方策のとりまとめは、会議録の確定をもって行うことをご了承お願いします。 今後、取りまとめた質疑等は、意見と修正箇所・内容、修正しない場合はその理由等を一覧表とし、決定した総合戦略実行計画及び附属資料とともに4月中に各委員へ送付するとともに、公開する予定である。 次に資料2は、第3回富津市創生会議事前調査担当表である。資料3の総合戦略実行計画（平成29年度当初予算）は80ページを超えており、各委員の負担を軽減するため、前回会議と同様に事前調査する事業を基本目標ごとに割り振っている。 資料3及び資料4の見方については、見え消し修正したものが、今回</p>

	<p>の変更点である。</p> <p>以上で説明を終わるが、本日は前回と同様、担当課の職員も出席しているので、活発なご質疑をお願いします。</p>
会長	事務局の説明に対し、質問はあるか。
委員	特になし
会長	<p>5 議題</p> <p>(1) 総合戦略実行計画（平成 29 年度当初予算）について 会議録の確定について 会長の指名した委員による承認を採用 第 3 回会議の署名人は下記のとおり 稲村委員、小泉委員</p> <p>議題の(1)総合戦略実行計画（平成 29 年度当初予算）については、先ほどの事務局からの説明のとおり進行する。 再度確認するが、各委員一人の質疑の時間は 8 分、質疑は 2、3 項目を目安とする。 最初に、各担当委員から質疑をしていただき、全委員の質疑が終了した後、15 分程度で全委員による質疑をする。 まず、基本目標 1 から質疑を始める。 基本目標 1 の担当委員のうち櫛田委員が欠席のため、稲村委員、佐々木委員の 2 名に質疑をお願いします。稲村委員から順次お願いします。</p>
稲村委員	実行計画 14 ページの広報ふっつ、市ホームページについて、成果目標を下方修正している理由は何か。
秘書広報課	スマートフォンからのアクセス件数が集計できていないため現段階では下げた。システム対応し集計可能となった段階で目標数値を上げる。
稲村委員	事業シート 94 ページから 97 ページの古墳の里ふれあい館、富津埋立記念館について、成果目標をもっと上げてもいいのではないか。
生涯学習課	古墳の里ふれあい館について、現在職員は配置していない。今後活用について検討していきたい。
公民館	富津埋立記念館については、平成 27 年度から入場料無料とした。職員配置は無く、公民館職員で来館者対応をしている。人員配置は難しいため現状維持とした。維持管理を図りつつ企画展等を検討したい。
会長	次に佐々木委員に質疑をお願いします。
佐々木委員	実行計画 11 ページの文化財について、報償費を上げて文化財の保護に

	力を入れることができないか。
生涯学習課	文化財については所有者管理が原則であるが、世代が代わることで問題が発生する場合もあるので、見直しをしなければならないと考えている。
佐々木委員	実行計画 12 ページの自治会について、自治会の存在意義や必要性の周知が必要とある。区の業務を区長一人で行っているわけではないので、区の役員等に区長報酬を案分することができないのか。
市民課	区長については設置規則に基づき委嘱をしているため、区長への報酬としている。なお、平成 27 年度から区長報酬については、金額を見直ししている。自治会活動については自治振興交付金が活用いただける。 また、自治会加入の広報として、今年から転入者へ自治会加入の案内チラシを配布している。
佐々木委員	実行計画 18 ページについて、地域包括支援センターに相談に行くまでの交通手段についてどのように考えているか。
介護福祉課	地域包括支援センターについては、市内 3ヶ所に設置している。地域包括支援センターまで行くことが難しい場合は、連絡をもらい自宅へ訪問する体制をとっている。高齢者の足の確保については課題となっているので、今後企画部門とも調整したい。
会長	続いて、基本目標 2 の質疑に移る。 基本目標 2 の担当委員のうち早見委員が欠席のため、坂田委員、鈴木裕士委員、橋村委員の 3 名に質疑をお願いします。まず、坂田委員から質疑をお願いします。
坂田委員	実行計画 31 ページについて、滞在型就農体験の内容はどんなものか。
農林水産課	平成 28 年度については加速化交付金を活用し AFICC とともに実施した。移住してもらうためには富津市を知ってもらうことが重要となると考えているので、農業体験できるものをこれから検討していきたい。
坂田委員	同ページについて、平成 29 年度から予算が無い理由は何か。
農林水産課	平成 28 年度は加速化交付金の事業費があった。平成 29 年度は事業内容未定であるため予算計上できていない。民間活用も視野に入れて、予算化を検討していきたい。
会長	次に鈴木裕士委員に質疑をお願いします。
鈴木(裕)委員	実行計画 25 ページについて、バスストップの停車便数を成果目標にし

	<p>ているが、利用者数にしないのか。</p>
建設課	<p>バスストップ建設にあたって目標乗車数を7万人と設定し計画している。</p>
鈴木(裕)委員	<p>市内、市外の高速バス利用者数は把握できているか。</p>
建設課	<p>天羽地区と大佐和南地区の人口、上総湊と竹岡の高速バス利用者数から7万人と設定したが、市内、市外の把握はできていない。</p>
鈴木(裕)委員	<p>参考まで現在の利用者はどのくらいか。</p>
建設課	<p>年間利用者は上総湊駅前約2万人、竹岡で約6千人と把握している。</p>
鈴木(裕)委員	<p>実行計画32ページの移住、定住促進について、いすみ市では手厚い移住支援制度があるが、富津市の移住支援の方向性はどうか。</p>
企画課	<p>AFICC事業も官民連携で行っているところであり、補助金を出すことが目的とならないような取組をいすみ市等の先進事例を参考に調査研究し検討していきたい。</p>
鈴木(裕)委員	<p>地域おこし協力隊等の国の制度の活用の方向性はどうか。</p>
企画課	<p>近隣市の取組等を調査研究し検討していきたい。</p>
鈴木(裕)委員	<p>事業シート165ページについて、捕獲した有害鳥獣の処理場について記載があるが、捕獲する人材の現在の状況、今後の展望はどうか。</p>
農林水産課	<p>当市において捕獲している方は現在約110人いる。これは年々少しずつではあるが増加傾向である。ただし、高齢者が多いため今後減少が見込まれる。狩猟免許取得のための補助金を予算化しているが、鳥獣対策については地域一体となって捕獲活動を進めることが重要であるため、そういった施策を検討していく。</p>
鈴木(裕)委員	<p>鋸南町はジビエをイベント化している。担い手を地域外から招聘することも検討をお願いしたい。</p>
農林水産課	<p>そういった取組も検討していきたい。</p>
会長	<p>次に橋村委員に質疑をお願いする。</p>
橋村委員	<p>事業シート134ページ、135ページの児童遊園地管理運営について、安全な公園とは何か。</p>

子育て支援課	木の伐採、草刈、遊具の老朽化への対応等による安全管理をするものである。
橋村委員	遊具更新費の予算が無い理由は何か。
子育て支援課	新しい遊具への更新をせずに修繕で対応することとしているためである。
橋村委員	事業シート 136 ページ、137 ページの市民ふれあい公園について、利用促進、サービス向上の具体的な内容は何か。
都市政策課	原則利用日を超えて、ナイター等柔軟に対応している。
橋村委員	事業シート 148 ページ、149 ページの定住奨励金について、打切りとのことだが、一時金の支給、住宅ローン利用者への利子補給等をできないか。
企画課	定住奨励金の実施結果、奨励金が移住のインセンティブにはなっていないため延長をしなかった。より効果のある施策を検討していきたい。
会長	続いて、基本目標 3 の質疑に移る。 基本目標 3 の担当委員のうち神田委員が欠席のため、岩沢副会長、鈴木眞廣委員の 2 名に質疑をお願いする。まず、岩沢副会長から質疑をお願いする。
岩沢副会長	今回の会議資料として、平成 29 年度施政方針の送付があったことは良かった。また、前回会議で意見した点について改善が見られた。今後も、わかりやすい市民への PR を継続していただきたい。 郵便局では手紙やお金の大事さに関する講座を無料で実施しているので活用してもらいたい。 本会議でとりあげる内容ではないかもしれないが、小中学校再編計画については施政方針にも記載があり、総合戦略の中に位置づけられると良い。 また、天羽中学校の改廃について、学校は地域の核となる重要な施設であり、一度建てると数十年間建替えできないし、街づくりもこの機会でないといけないので天羽中学校を公共交通、街づくりの拠点として考えられないか。
教育総務課	小中学校再配置計画については、学校教育課が窓口となって地域に説明会を実施しており、委員と同様の意見も伺っている。 天羽中学校は当初大規模改修の予定で進めており、それに基づいた中で体育館等の改修を計画してきたところである。

岩沢副会長	政策間連携を市全体で考えてもらいたい。
会長	次に鈴木眞廣委員に質疑をお願いする。
鈴木（眞）委員	<p>施政方針で子育てしやすいまち日本一を掲げているが、富津市が目指すところを見える化してほしい。</p> <p>実行計画 43 ページについて、ふれあいスポーツフェスタを通じて縁を結ぶとはどのようなものか。</p>
生涯学習課	ふれあいスポーツフェスタについては、スポーツに触れることで健康増進を図るためのイベントであり、市民が多く参加しているイベントのため活用したいと考えている。事業内容は、実行委員会で決定しているが、現状は特に具体化できていない。今後、検討したい。
鈴木（眞）委員	<p>ふれあいスポーツフェスタそのものはよい取組だと思う。市民が多く集まるイベントなので、具体策を検討いただきたい。</p> <p>実行計画 45 ページの子育て応援ガイドブックについて、70 ページほどあるため普段持ち歩いて利用するのは考えにくい。配布して終わりではなく、配布から始まると考えてもらいたい。また、何でも聴きます窓口につなげないとならない。</p> <p>何でも聴きます窓口について、どのような方が配置されるのか。また、どういったことをするのか。</p>
子育て支援課	何でも聴きます窓口については、平成 29 年 4 月 1 日から子育て支援課に設置する。窓口には家庭相談員、母子父子自立支援員、家庭教育指導員、相談受付担当の非常勤の職員を配置する。予算は非常勤の職員の賃金、子育て啓発用パンフレット費用を計上している。
鈴木（眞）委員	非常勤職員はどういった人か。
子育て支援課	特定の資格を有する職員の配置ではなく、子育て経験のある人が総体的に事務、窓口の対応をするものである。
鈴木（眞）委員	<p>総合窓口になるので、多方面に知識がある方でないと難しいと感じるが、新しい取組なので是非成果を期待したい。</p> <p>実行計画 46 ページについて、ファミリーサポートセンターの運営状況、利用実態はどのようなになっているか。</p>
子育て支援課	<p>平成 28 年 4 月から富津市社会福祉協議会で事業開始し、100 件を超える依頼があり、キャンセル等により 2 月末時点で 80 件程度実施したと報告を受けている。塾の送迎、保育所送迎が主なものである。</p> <p>まかせて会員 13 名、お願い会員 51 名、どちらも会員 5 名の登録であった。今後周知に協力し、会員を増やしたい。</p>

鈴木（眞）委員	会員数はさらに増える見込みか。
子育て支援課	当初目標の100名を目指していきたい。
鈴木（眞）委員	実行計画56ページについて、放課後学習教室モデル校とはどういうものか。
教育センター	放課後学習教室については、平成29年度から設置し、その日の学習でつまづいたところの解消、児童の意欲喚起に着目し、学校が終わった時間から教室を1つ開設して非常勤職員が支援するものである。
鈴木（眞）委員	モデル校は今後、実施校を拡大するのか。
教育センター	モデル校で課題や成果を洗い出しながら今後検討していきたい。
会長	ここで休憩を挟み、基本目標4の質疑に移る。 (休憩)
会長	続いて、基本目標4の質疑に移る。 基本目標4の担当委員のうち並木委員、森田委員が欠席のため、小泉委員、永田委員の2名に質疑をお願いする。まず、小泉委員から質疑をお願いします。
小泉委員	実行計画74ページのノリ共同加工施設について、毎年1棟ずつだと何十年もかかり、後継者の確保が継続できない。
農林水産課	莫大な費用が必要なことから単独費では難しく、国等の補助金が必要になる。来年度は採択されなかったため、再来年度の実施になる。
小泉委員	千葉県内では、富津で7割程度ののりを生産している。なるべく早期に実施願いたい。
農林水産課	市としても重要な基幹産業と考えている。県と連携して生産強化をしていきたい。
小泉委員	漁業についても、体験型、滞在型の事業を進める必要があるが、宿泊施設が市内にあまりない。何か策はないのか。 市としてはどのような考えか。
商工観光課	現在ある宿泊施設の宿泊利用者は増加傾向である。施設建設となると民間ベースの話になるが、調整を図っていきたい。 また、富津公園を中心としたスポーツ利用客の受入態勢を検討したい。

会長	次に永田委員に質疑をお願いする。
永田委員	実行計画 64 ページのふるさと納税について、返礼割合を 3 割とするような報道があった。ふるさと納税の寄附は減ると思うが目標値はそのままが良いのか。
企画課	前年度と比較して 10 倍の寄附実績があったことから、この目標値とした。返礼割合については、4 月に正式通知があるとのことなので、通知を待って、対応策を検討したい。
永田委員	実行計画 60 ページの企業誘致奨励金について、固定資産税相当額を奨励金として交付となっている。資産価値が年々変わるが、この制度の損益分岐点は試算しているか。また、メリットデメリットの分析はしているのか。
企画課	進出企業へアンケートを実施し、結果を取りまとめ中である。その結果を踏まえて、インセンティブになるような制度改正を検討していく。
永田委員	実行計画 61 ページについて、中小企業資金融資利子補給について、実施した効果について把握しているか。
商工観光課	平成 28 年度に融資を受けた企業へアンケート調査を行った。153 件中 94 件の回答があり、融資を受けたことによりどのような利点があったかという設問に対しては、「資金繰りが安定し事業に専念できるようになった」、「設備が整い経営状況が良好になった」、「事業計画が立てやすくなった」などの回答があった。今後も継続してほしいとの意見もあった。
永田委員	企業から喜ばれているのは事実であるとわかった。融資を受けている企業が儲かっているのかどうかは把握できているのか。
商工観光課	経営状況が良好だという旨の回答が約 7 割あるので、経営状況は安定していると類推している。今後必要に応じて、金融機関とも連携して追跡調査を検討したい。
永田委員	実行計画 66 ページの商工会支援についての効果はどうか。
商工観光課	市商工会育成補助金については、商工会に経営改善指導事業の目的のために補助金を出している。内容としては各種講習会の開催、申告対応、金融斡旋、巡回指導等を行う。 また、プレミアム付商品券、商工祭、観光イベントへの参加等の地域振興事業を実施しているので、投資効果はあると判断している。
会長	基本目標 1 から 4 までの担当委員による質疑は終了したので、担当以外の委員からも質疑をお願いする。まず質問の機会がなかったので、私

	<p>から質問する。</p> <p>実行計画 28 ページについて、ふれあい公園はすばらしいが飲食店のないことが寂しい。様々な制約があるかと思うが、人が訪れたい公園にするため、何か検討できないか。また、散歩しているとごみの放置がひどい。</p>
都市政策課	<p>ふれあい公園は近くに商業施設があり、需要に応えられていると考える。ごみについては管理者が巡回しているが、発見した場合は連絡してほしい。</p>
会長	<p>公園内にあることに意味がある。ごみの放置された場所は今度案内する。</p> <p>実行計画 49 ページについて、チャイルドシート貸付事業は、利用後の汚損等があることから、貸出事業になじまないのではないか。</p>
子育て支援課	<p>チャイルドシートの貸出については、子どもを自動車に同乗させる際、チャイルドシート装着義務付けに伴って全国的に広まった。貸出や補助をやめる自治体も出てきている。</p> <p>本事業は平成 28 年 4 月から富津市社会福祉協議会に委託して実施しており、17 台中 15 台程度は常に貸出している状況である。</p> <p>また、クリーニング等を含め、管理は富津市社会福祉協議会に委託しているが、費用が発生する場合は別途相談としている。</p>
会長	<p>チャイルドシートを備えることは、個人で対応するものだと認識している。要望ではなく、意見として聞いてもらいたい。</p> <p>それでは他の委員で質疑等があればお願いします。</p>
鈴木（眞）委員	<p>実行計画の全体の傾向として、丸投げするような事業計画になっている。民間の力を活用するとしても、関係作りの土台がないと、皆で支え考えていかないと進まない。</p> <p>都会に向けての価値が取り上げられるが、富津市へ向けてのアクセスを皆で考えていかなければいけない。</p> <p>鳥獣対策について、狩猟者が増えれば事故も増える。実際に狩猟用の檻の罠に子どもがかかってしまったことがある。人災の対策も検討してもらいたい。</p>
鈴木（裕）委員	<p>実行計画 24 ページについて、青堀駅のバリアフリー化はどのようなものか。</p>
企画課	<p>乗降客 3,000 人以上の駅のバリアフリー化であれば国補助対象事業になる。バリアフリー化事業としてはエレベーター設置、多機能トイレ整備について、平成 29 年度に概略設計を予定している。また、車両とホームの段差は対象外である。</p> <p>市内交通については地域公共交通会議を設置し、計画策定を予定して</p>

	いる。
鈴木(裕)委員	浅間山バスストップと駐車場との位置関係について、バスストップの駐車場から乗り場までが遠いと聞いているがどのように対応するか。
建設課	バスストップの駐車場まで最短経路となるようにネクスコ東日本と協議中である。
佐々木委員	自主防災組織は大事であるので推進を進めて欲しい。組織率 100%をどのように目指していくか。
防災室	各自治会に対し出前講座を行い、年間延べ 2,000 人ほどの市民を対象に自主防災組織の必要性を説明し、昨年度は自主防災組織が 1 団体組織された。今後も出前講座を継続し組織設立後のフォローアップも併せてしていきたい。
会長	以上をもって議題(1)を終了する。 議論いただいた内容や意見は、会議録の確定をもって取りまとめる。 また、市の各事業担当課においては、本日の意見等を今後の市政運営に活かしてもらいたい。
会長	議題(2) その他 その他について、事務局から説明を求める。
事務局	資料 5 平成 29 年施政方針について概要を説明する。 本施政方針は、平成 29 年 2 月 24 日に高橋市長が初めて出したものである。「ひとの創生」、「まちの創生」、「しごとの創生」の 3 つの柱で構成し、「ひとの創生」を第一に掲げ、子育て支援関係の施策を掲げている。 続いて「まちの創生」、「しごとの創生」について各種施策を掲げている。 結びにもあるとおり、計画はできあがればそれで終わりではないことから、着実な総合戦略の実行に引き続きご協力のほどよろしくお願いしたい。
会長	以上をもって第 3 回富津市創生会議を終了する。
	(終了時刻 午前 11 時 50 分)

以上